



原発から自然エネルギーへの転換を



日本共産党市議会議員
松村ヤス子の
おはようニュース

2012年8月

あなたの意見を政府に伝えよう

8月12日で決まる原発政策

◆パブリックコメントとは

公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に（パブリック）に、意見・情報・改善案など（コメント）を求める手続きをいいます。公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すものです。通称「パブコメ」といいます。

「エネルギー政策をどうするか」で、原発利用を何%までなら良いかを問いかけること自体、おかしいと思います。

「事故は絶対おこらない」ということもありえないでしょうし、たとえ、絶対事故をおこさないとしても、解決できないのが使用済み核燃料の問題です。人類がコントロールできない、人類の未来を確実に失わせる「死の灰」を作り続けることを許すのかどうかを問うことが先決です。原子力と人類は共存できません。脱原発→原発禁止に向かうべきと考えます。

松村ヤス子

◆「エネルギー・環境に関する選択肢」のパブリックコメントの概要

6月6月29日、政府の「エネルギー・環境会議」から「エネルギー・環境に関する選択肢」が提示されました。

2030年までの日本の原発のあり方が、以下の0%、15%、20～25%のシナリオの選択で今まさに決められようとしています。

- [0%シナリオ] ……唯一の脱原発シナリオ
- [15%シナリオ] ……50基すべての原発を動かすシナリオ。危険で古い原発の延命。
- [20～25%シナリオ] ……将来にわたって原発50基以上を動かし続ける、原発の新增設を積極的に推進するシナリオ

左側の用紙を切り取って、
ファックス であなたの意見を!!
8月12日 午後6時締め切り